

明日を変える 明日は変わる

元気いっぱい 西から東へ。南から北へ。
活動アルバム
 Moriya album 2007.12.08 vol. 02

柏崎・刈葉原子力発電所視察と
新潟県中越沖地震後の現地調査



福岡県第2区総支部代表、稲富修二氏と
共に幹事長として記者会見へ



福岡初のプロバスケットチーム
「ライジング福岡」のドンゴ選手と共に



インフォメーション

**法律上の定めにより時候の
御挨拶を失礼させていただきます。**

公職選挙法147条により、時候の挨拶状をお出しすることが禁じられております旨、御理解くださいますようお願い申し上げます。

福岡県民の現場の声を県政に届けます



福岡県西方沖地震で被災された方への
募金活動を行う



県議会の文化議連の幹事として
九州国立博物館視察訪問



委員会視察で名古屋市のトヨタミュージアムを訪問



編集後記

今回私は全議員の中で最初に一般質問を行う機会を頂きました。(前は会派のトップバッターでした)一番目という事で心地よい緊張感を保ちながら、約25分間発言しました。今後も県民の皆さんと常に同じ目線で、県政に対する疑問等を積極的に訴えて行きたいと思っております。引き続きご支援ご指導の程、宜しくお願いいたします。

PROFILE

昭和40年6月21日／福岡市生まれ
 昭和59年3月／西南学院高等学校卒業
 平成元年3月／西南学院大学商学部商学科卒業
 平成元年4月／近畿日本ツーリスト(株)入社

平成8年10月／衆議院議員秘書(国会内)
 平成16年12月／(株)九電ビジネスフロント入社
 民主党 福岡県第2区総支部幹事長
 厚生・環境委員会委員
 景気・雇用対策調査特別委員会委員
 福岡県議会文化議員連盟幹事

〒814-0104
 福岡市城南区別府6-2-10
 TEL 092-851-3679
 FAX 092-851-3670
 e-mail:macmac0621_1965@mail.goo.ne.jp
 HP:http://moriya-masato.info/



もりや まさと

福岡県議会議員(城南区)

守谷正人の県政報告

明日を変える 明日は変わる

moriya report

県政報告 02
 2007.12.08 VOL.



近況報告	1P
県政報告	2-3P
活動アルバム	4P
プロフィール	4P

近況報告 わたしの政治の見方、考え方

我々県議会議員は県民からの多くの負託を受けて選ばれました。そして同じく県民から直接選ばれた知事の掲げる政策などを厳しくチェックをしていますが、この両者の間に緊張関係があるからこそ、はじめて健全な地方政治が成り立つと思います。そして最終的に県民の利益が正しく守られると信じています。私はその思いを持って今回も知事に一般質問を致しました。今回、私はこの報告書の中で「明日を変える。明日は変わる」という言葉を使いました。「明日を変える」という信念を持っていれば、いつかは「明日は変わる」ことが出来ると思っています。

すべては政治に信頼を取り戻すために、私は信念を持って政治を行っています。「政治の流れを変えたい」という多くの皆様の思いを心にしっかり受け止め初心のままに全力で使命を果たしてまいります。皆様の変わらぬご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

福岡県議会議員 **守谷 正人**

平成19年9月 第三回福岡県議会定例会について

9月県議会は9月20日から10月10日まで開催され、条例議案7件や経費負担に関する議案12件が提案・審議され、全ての議案が可決しました。最終日に決算特別委員会を開設し審議の後、閉会しました。

また、民主・県政クラブが提案した、沖縄戦における「集団に自決への日本軍の関与」に関する教科書記述削除・修正に反対する「高校教科書の検定に関する意見書」が採択されました。(沖縄を除く九州各県では初)

私は9月県議会で2回目の一般質問会派を代表して行いました。今議会では再度「県内の雇用促進対策」と「橋梁の安全性」について麻生県政に質問しました。



(街頭演説で政治をもっと身近に)

将来を背負って立つ「若年者」や社会で活躍 したい「子育て世代」の支援対策を求める。

県内の雇用促進対策について



(議会で知事に質問を行う)

【質問と答弁の要旨】

〈質問〉 若者の雇用支援施設であります「若年者ごとサポートセンター」に対して経済産業省からの評価が、中小企業の人材確保の支援を行う事業に関してはBランクでありました。その評価を踏まえて、我が県の対応はどうか。

〈知事〉 本県の事業計画に対する評価がB評価になったことについては納得できる合理的な理由が示されていません。

〈要望〉 「納得できる理由が示されない」のであれば、何故、それを追求して納得できる回答を引き出さなかったのか。是非A評価になるように、今後事業の見直しを強く要望します。

「いざなぎ景気」を越えるとも言える、平成14年から続く現在の「景気回復」に多くの国民がそれを実感出来ないとの調査結果が出ています。今年の内閣府の「経済財政報告」の中でも、これ以上生活弱者にしわ寄せが行くという状況が続けば、将来に禍根を残す事になると指摘しています。現在、「景気回復」と政府は言っていますが、それはリストラや賃金カット、非正規社員化による企業の業正規回復であり、株主配当や役員報酬は増加する一方、労働者の賃金は横ばい、もしくは減少傾向が続いています。この様な状況の中、将来を背負って立つ「若年者」や社会で活躍したい「子育て世代」の就労支援対策について質問しました。

〈質問〉 県の就職支援施設での民間のノウハウを活かした事業展開について。

〈知事〉 就業紹介に関するノウハウや多くの求人情報を有する民間企業を活用する事は、若年者の早期就職に非常に大切なことであります。今後は更なる民間企業との連携を深めていきます。

〈要望〉 「官民一体」となって、更なる積極的な雇用促進対策を進めて欲しい。

〈質問〉 今後の取り組みについて。

〈知事〉 若年者を対象として常用雇用の促進を図る本県独自の新たな事業を始めるなど、課題に対応した支援に努めているところです。

「子育て女性の就職支援対策」 についても知事に質問し、 以下の事を強く要望しました。

「子育て応援宣言企業」の数が県内で1,000社を突破しましたが、職場の意識や環境等の検証をきちんと行う必要があります。

たとえは

- 1 育児休業が取得しやすい職場環境づくり
- 2 休業中の職場とのコミュニケーションの維持
- 3 職場復帰の円滑化
- 4 復帰後の勤務時間に対する配慮



西日本新聞に掲載されました。

橋梁の安全性について

県内橋梁の「老朽化対策」が今改めて、議論が必要となってきています。国土交通省によるとコンクリートで作られた橋梁の寿命は平均して60年程度とされています。今後は県内の多くの橋梁で架け替えが必要となってきます。財政的な負担を少しでも軽減し、安全性を維持するためには、定期点検を含めた「橋梁の長寿命化」を検討しなくてはなりません。そこで橋梁の安全対策と現状について質問しました。

【質問と答弁の要旨】

〈質問〉 福岡県や市町村が管理している橋梁の現状と点検の実態について。

〈知事〉 本県が管理する15メートル以上の橋梁の数は約1000橋、市町村管理は約2900橋。建設50年を越える橋梁は約130橋、10年後には250橋。30年後には700橋にもなります。県管理の橋梁に関してはここ3年で一斉点検を行い「補修の検討を行う必要がある」と判定された橋梁は約3割あります。市町村で点検を行ったのは約4割にとどまっています。

〈要望〉 今後は早期に適切な補修と市町村への指導を強く要望します。



(平成19年10月1日 一般質問)

〈質問〉 県内橋梁の修繕計画について。

〈知事〉 損傷を早期に発見するための定期的な点検の実施、点検結果のデータベースへの蓄積などをして予防保全を進めて参ります。市町村に対しては「長寿命化」に向けた修繕計画を策定出来るよう、今年度から記述講習会を開催します。

〈要望〉 修繕にかかる予算については県の財政を圧迫することの無いように計画的に進めて、橋梁の耐用年数を定期検査などを実施して100年まで延命してもらいたい。

中国東北三省視察について



(中国・黒龍江省 政府代表を表敬訪問)

平成19年9月1日から6日間、中国の黒龍江省・吉林省・遼寧省の3省を民主・県政クラブで訪れました。今回の訪問の目的は中国の環境問題の現状と発展する産業について視察することです。環境問題については我々予想を超えて、深刻な状況でありました。国民の一人ひとりの環境に対する意識の改革と国家としての環境政策改善の実施が急務であります。我々も環境の先進国として中国と人的、技術的な交流などを通じて助け合っていくことが大切であると改めて感じました。



(中国の農業問題について農家を訪問)